

Heartful Communication

# ひがしみの

JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。



特集

第18回通常総代会  
～第6次中期計画始動～



JAひがしみの

# 第18回通常総代会

## 第6次中期計画始動

自己改革の最重要課題である「農業者所得増大と農業生産の拡大」、  
「総合事業の展開による地域活性化」、「組織基盤・経営基盤の確立」の  
実践に向け全力で取り組む



J Aひがしみののは6月17日(金)、東美濃ふれあいセンターで第18回通常総代会を開き、総代定数600名のうち522名が出席しました。

議長には丸山靖志さん(中津川市千旦林)が選出され、第7号議案までの議案を審議し、原案通り可決されました。特集では要点を紹介します。

### 第1号議案

第18年度(平成27年度)事業報告及び剰余金処分案の承認について

第18年度の「事業報告」及び「剰余金処分案」を確定させるための承認。  
第18年度の事業報告及び剰余金処分案について(35ページ)

### 第2号議案

第6次中期計画(平成28年度～平成30年度)の設定について(7～8ページ)

### 第3号議案

第19年度(平成28年度)事業計画の設定について(9ページ)

### 第4号議案

定款及び定款附属書役員選任規程の一部変更について

平成27年に農業協同組合法(昭和22年法律第132号)が改正され(平成28年4月1日施行)、次の事項等について追加、変更又は削除されたことに伴い、定款の一部変更。

1. 専属利用契約にかかる規定の削除
2. 回転出資金にかかる規定の削除
3. 組織変更等の規定において新設分割等の追加
4. 理事の自己契約(利益相反契約)等にかかる規定の変更

また、平成27年に農業倉庫業法(大正6年法律第15号)が廃止された(平成28年4月1日施行)ことに伴い、定款の一部変更。

### 第5号議案

信用事業規程の一部変更について

農業協同組合法施行令等の一部を改正する等の政令(平成28年政令第27号)の施行に伴い、農業協同組合法施行令(昭和37年政令第271号)の規定の整理が行われたことに伴い、所要の規定を整備するため当該規程の一部変更。

### 第6号議案

理事及び監事の報酬額の決定について

1. 昨年度の支給実績及び事業実績、経済情勢の変化等諸般の事情を考慮して、平成28年度の理事の報酬については総額6,930万円以内とし、その範囲内における各理事の報酬額、支給方法等については、理事会に一任する。

なお、理事は27名。

2. 昨年度の支給実績及び事業実績、経済情勢の変化等諸般の事情を考慮して、平成28年度の監事の報酬については総額1,350万円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額、支給方法等については、監事の協議に一任する。

なお、監事は6名(うち員外監事1名)

### 第7号議案

退任理事に対する退職慰労金の支給について

理事 西尾初一氏は、本総代会の終了時をもって退任されました。在任中の労に報いるため、当組合における役員退職慰労金規程に従い、167万円の範囲内で退職慰労金を支給することとし、その具体的な金額、支給の時期、方法等については理事会に一任する。

また、退任理事の略歴は次のとおりです。  
氏名 西尾 初一

平成23年6月 常勤監事

平成26年6月 常務理事(企画総務管理担当)

平成28年6月 退任

### 附帯決議

本総代会の決議事項中、権利義務に關しない軽微な事項の修正、違算及び誤字の修正並びに法令その他行政庁の処分またはこれに基づく指示による必要な修正は、理事会に一任する。

### 報告事項

・第18年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに全国農業協同組合中央会の監査報告及び監事の監査報告について(5ページの貸借対照表、損益計算書のみ掲載)

「注記表については、法令及び定款第40条第5項の規定に基づき、当組合のウェブサイト(<http://www.ja-higashimino.or.jp/>)に掲載。

・「JAバンク基本方針」の変更



# 事業報告

平成27年度



タブレットを活用した営農指導



アグリスクール



あいさつをする当JA足立組合長

## 指導事業

### 営農指導

平成27年度は、営農指導態勢を強化するため、本店に専任T.A.C(担い手担当者)を配置し、営農組織の法人化に向けて重点地区(6カ所)での話し合いを延べ50回行いました。その結果、2地区において担い手法人を設立することができました。

また、農地中間管理機構と連携し、13地区において180haを新規で担い手に集積するとともに、農家所得向上の取り組みとして、農業経営ドックの活用により、15組織に対し経営支援を実施しました。

主要農畜産物の園芸関係では、各生産部会と連携し、全地域で各チャレンジ塾を開催し、新規就農者の拡大を図るとともに、畜産関係では、第11回全国和牛能力共進会出品に向けて、肥育区・

種牛区の交配に積極的に取り組みました。また、子牛価格の高騰対策として預託上限価格の変更による資金繰り対策など優良素牛導入に努めました。

## 生活指導

JA食農リーダーを中心に、管内の保育園・幼稚園・小学校で、米・大豆・野菜などの播種から管理・収穫・加工の体験活動を実施するとともに、「食」と「農」と「JA」への理解を深めるため、親子を対象とするアグリスクールを開催しました。

JA助けあい活動では、参加する会員の増加に取り組みとともに、各施設・病院へのボランティアや配食サービスなど高齢者支援活動の内容を充実し活動の場を提供しました。

女性部組織については、仲間づくりや組織づくりを図るため、ふれあいセミナー、おすすすめ講座、サークル等を開催し多くの方が参加されました。

また、生活習慣病健診を各地域で開催するなど、地域貢献活動を積極的に行いました。

## 組織広報

組合員の方々はもとより地域の皆さまが、JAをより身近に感じ、利用していただけるため、「JAファンづくり運動」に取り組みました。

また、支店運営委員会等の会議開催を通じて、組合員・利用者の皆さまの「声」をJA運営に反映させるよう取り組みました。

広報誌「ひがしみの」、日本農業新聞、地域コミュニティ紙、ホームページ等で「食」と「農」に関わる情報を中心に、地域農業の振興と安全・安

## 販売事業

心な農畜産物のPR活動を展開しました。



トマト消費宣伝

農畜産物の販売について、畜産関係では、乳価値上げや乳質の規制緩和、また、子牛不足による肉牛出荷減少等の影響で、高値取引による堅調な販売ができました。

農産関係については、前年から続いた米余りの状況を受け、JAグループ及びび国を挙げての米需給バランス改善のため、主食用米から需要のある飼料用米への転換を推進しました。

その結果、一定の需給改善と米価については一応の回復はできましたが、在庫量は依然として高い水準に留まっています。

また、トマト・なす・栗等では、8月下旬から9月上旬の台風の影響を受け、収量は低下しましたが、販売単価は前年を上回ることができました。

## 利用・加工施設事業

利用施設の良品生産、安全・安心の管理態勢を強化するため、飼料用米に対応できる施設改修を行い、米のコンタミ（異品種混入）防止に努めました。

また、乾燥調製施設については、長寿命化を図るため、国・県・市の支援を受け改修を行いました。

## 介護保険事業

相互扶助の精神を基に、介護を必要とする高齢者とその家族がいつまでも住み慣れたこの地で、安心して暮らせる訪問介護事業に取り組みました。

## 購買事業

生産資材関連では、大口農家、担い手農業者及び多様な農業者の皆さまに対して、肥料・農薬の予約注文推進を行い、早期予約のメリットである予約値引きを実施するとともに、利用高に応じた大口予約奨励金を交付し、生産者のコスト低減に取り組みました。また、肥料・農薬については市場価格調査を行い、グリー

ンセンターの供給価格に反映させました。生活関連事業では、Aコープ坂下店の改装など施設整備に取り組みました。また各地域において支店を中心とした「ふれあい感謝祭」を開催し、「ふれあい」を深めるとともに、各種キャンペーンを展開し、組合員及び地域の皆さまに生活資材の提案活動を行いました。



リニューアルオープンしたAコープ阿木店・加子母店

## 信用事業

農業の活性化と地域に貢献する地域密着型金融機関を目指し、年金アドバイザー・窓口アドバイザーの充実を図るとともに、相談機能の向上と組合員・利用者の皆さまの多様なニーズに応えるよう年金受給者、未取引者等への取り組みを強化し、取引先の組合員化による顧客基盤の拡充とCS（顧客満足）の向上に努めました。

## 平成27年度分 出資金に関するお知らせと組合員資格確認のお願い

第18回通常総代会で、平成27年度剰余金処分案が承認されました。出資配当金は、6月23日付で組合員の皆さまの貯金口座へ入金いたしましたので、お知らせ致します。

組合員の皆さまの組合員資格に変更が生じた場合は、定款第15条の定めるところにより、書面にて当JA宛にお届けいただくことになっております。組合員資格に変更があった場合は、お手数ですが当JAの最寄りの支店宛に組合員資格変更届をお届けくださいますよう、お願い申し上げます。

組合員資格には農業者である正組合員と、農業者以外である准組合員の2つがあります。

正組合員は、経営する農地が5a以上か、農業に年間30日以上従事する農業者等の方が該当します。

なお、組合員資格の詳細などは最寄りの支店にお問い合わせください。

※組合員の皆さまのお名前やご住所が変更されたり農地の増減などで、組合員資格が変更、もしくは喪失する場合がございます。

※お亡くなりになられた方の名義で届いている場合、当JAの出資金が名義変更（相続手続き）されていない可能性があります。お手数ですが、最寄りの支店にお問い合わせ下さいますよう、お願い致します。

また、農業の担い手や集落営農組織への営農資金等融資対応に取り組み、ローンセンターにおいては、相談型営業態勢の強化を図り、休日ローン相談会の開催や住宅建築業者との意見交換会を開催しました。

JA共済の理念である助け合いの精神を再認識し、「地域に安心の輪を広げ、未来への絆をつくる」ことに取り組み、組合員・利用者の皆さまの保障充足の拡大に努めました。

また、訪問活動を通じて、「加入状況点検」と「新規加入拡大」への取り組みを強化し、新たな仲間づくりと共済加入世帯全戸訪問を実施し、JAへの信頼確保と地域住民の皆さまとの絆づくりに努めました。

## 共済事業

■貸借対照表

平成28年3月31日現在(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
1. 信用事業資産	214,348,653	1. 信用事業負債	215,741,362
① 現金	914,743	① 貯金	215,370,925
② 預金	164,471,409	② 借入金	24,136
系統預金	164,365,480	③ その他の信用事業負債	346,300
系統外預金	105,928	未払費用	164,860
③ 有価証券	7,303,061	その他の負債	181,440
国債	6,903,286	2. 共済事業負債	1,689,869
社債	399,774	① 共済借入金	73,210
④ 貸出金	41,126,206	② 共済資金	1,196,681
⑤ その他の信用事業資産	1,092,588	③ 共済未払利息	798
未収収益	1,056,914	④ 未経過共済付加収入	391,351
その他の資産	35,673	⑤ 共済未払費用	26,268
⑥ 貸倒引当金	△ 559,354	⑥ その他の共済事業負債	1,558
2. 共済事業資産	74,703	3. 経済事業負債	404,246
① 共済貸付金	73,210	① 経済事業未払金	353,252
② 共済未収利息	798	② 経済受託債務	32,752
③ その他の共済事業資産	694	③ その他の経済事業負債	18,241
3. 経済事業資産	2,766,154	4. 雑負債	442,645
① 受取手形	4,986	① 未払法人税等	79,000
② 経済事業未収金	875,131	② 資産除去債務	37,211
③ 経済受託債権	47,644	③ その他の負債	326,434
④ 棚卸資産	618,335	5. 諸引当金	1,107,089
購買品	280,478	① 賞与引当金	236,895
貯蔵品	124,990	② 退職給付引当金	835,381
その他の棚卸資産	212,866	③ 役員退職慰労引当金	34,812
⑤ その他の経済事業資産	1,254,122	負債の部合計	219,385,214
⑥ 貸倒引当金	△ 34,065	純資産の部	
4. 雑資産	503,261	1. 組合員資本	9,670,176
5. 固定資産	3,285,879	① 出資金	2,653,254
① 有形固定資産	3,130,577	② 再評価積立金	816
建物	6,023,379	③ 利益剰余金	7,035,696
機械装置	1,831,833	利益準備金	2,395,179
土地	1,267,783	その他利益剰余金	4,640,517
建設仮勘定	447	税効果調整積立金	130,151
その他の有形固定資産	1,432,507	経営基盤強化積立金	1,570,348
減価償却累計額	△ 7,425,374	特別積立金	2,152,437
② 無形固定資産	155,301	当期末処分剰余金	787,579
6. 外部出資	7,984,233	(うち当期剰余金)	377,064
系統出資	7,770,461	④ 処分未済持分	△ 19,591
系統外出資	208,871	2. 評価・換算差額等	322
子会社等出資	4,900	① その他有価証券評価差額金	322
7. 繰延税金資産	92,828	純資産の部合計	9,670,498
資産の部合計	229,055,713	負債及び純資産の部合計	229,055,713

■損益計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日(単位:千円)

科目	費用	収益	差引損益
信用事業	391,557	2,185,109	1,793,552
共済事業	93,540	1,297,061	1,203,521
購買事業	5,999,809	6,813,649	813,839
販売事業	106,053	198,940	92,887
農業倉庫事業	2,275	18,027	15,752
哺育センター事業	101,730	132,623	30,893
堆肥センター事業	70,228	80,363	10,135
加工事業	1,820	1,742	△77
利用事業	416,826	642,284	225,458
作業受委託事業	20,580	21,478	897
葬祭事業	2,894	38,622	35,728
旅行事業	3,735	8,360	4,624
簡易郵便局事業	1,622	3,719	2,096
介護保険事業	16,496	12,558	△3,938
その他事業	22,928	38,985	16,057
指導事業	40,058	7,828	△32,230
1. 事業総利益			4,209,199
2. 事業管理費			3,780,207
事業利益			428,991
3. 事業外収益			161,002
4. 事業外費用			3,371
経常利益			586,622
5. 特別利益			28,759
6. 特別損失			64,599
税引前当期利益			550,782
法人税等合計			173,718
当期剰余金			377,064
当期首繰越剰余金			325,705
税効果調整積立金取崩額			73,572
経営基盤強化積立金取崩額			11,237
当期末処分剰余金			787,579

※貸借対照表、損益計算書の記載額は千円未満を切り捨てて表示しています。



【第1号議案】第18年度(平成27年度)剰余金処分案

(単位:円)

I 当期末処分剰余金	787,579,406	(注) 1. 出資配当は、年1.5%です。
合 計	787,579,406	2. 任意積立金における目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、取崩し基準等は次のとおりです。
II 剰余金処分量		(1) 経営基盤強化積立金
1. 利益準備金	80,000,000	
2. 任意積立金	350,000,000	
経営基盤強化積立金	(350,000,000)	
3. 出資配当金	39,339,397	
合 計	469,339,397	
III 次期繰越剰余金	318,240,009	

目的	積立目標額	取崩し基準
貸出金等不良債権の処理、固定資産の減損会計、有価証券の価格下落、会計等法制度の変更に伴う費用の発生等、金融経済環境の急激な変化に伴う損失発生へのてん補に備え、組合経営の健全な発展を図ることを目的として積立を行う。	次の金額の合計額を限度額として積み立てる。 ①貸倒引当金繰入対象債権の期末残高の7%に相当する額 ②有形固定資産(償却累計額控除後)の期末帳簿残高の5%に相当する額	次の事象が発生した事業年度において、必要額を取り崩すことができる。 ①債権を償却(貸倒引当金繰入含む)することにより多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ②減損会計等の適用により多額の費用が発生した場合、その費用相当額 ③不稼働資産等処分 不稼働資産計上等上記①②以外の資産について処分損が発生、またはその価値の毀損により全額回収が危ぶまれる場合に評価損を計上する場合、その費用相当額 ④会計等法制度の変更に伴って多額の費用等が発生した場合、その相当額

積立目標額	取崩し基準
繰延税金資産(法人税等の前払い部分)の剰余金処分を留保するために毎期積立を行う。ただし、繰延税金負債及び有価証券の評価差額にかかる繰延税金資産に対する額を除く。	繰延税金資産が回収された、または回収不能となった年度において当該減少額を取り崩す。

3. 次期繰越剰余金には、営業指導、生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額19,000,000円が含まれています。

# 質疑応答



**Q** (7ページ)第6次中期計画のIV実践取組事項「農業所得増大と農業生産の拡大に積極的に取り組みます」のところで、品目別モニター農家の農業所得を(表・1)対平成27年度で平成28年度には3%増、平成30年度には10%の増といった目標を掲げているが、具体的に説明してほしい。

**A** (7ページ/表・1)については、本来であれば全農家の所得増大を図るべきですが、全農家の所得を全て把握することは現実的に難しい問題です。そこで、品目別のモニター農家を70戸選定いたしました。選定基準として、農畜産物をJAへ出荷していただいている農家を対象とし、水田の担い手、トマト農家、栗農家、また畜産農家から1割程度を農家モニターとして選定して頂いております。その農家の方々の農業所得を今後3年間で増大することを指標としております。対象農家には、平成27年度の決算書をJAに提出していただき、収支内容を検討し農業所得を平成28年度3%、平成29年度6%、平成30年度には10%まで増大する計画としました。

**Q** (8ページ)IV実践取組事項の1の(2)に「地域の農業を支える専業・兼業等多様な担い手を育成・支援します」と記載があるが、中津川市が言っている内容と全く同じに思われるが、これはいかがなものか。現在、坂本地区を中心にリニア中央新幹線の間開駅・車輛基地、濃飛横断自動車道、坂本北部工業団地等、多くの大プロジェクトが進みつつある中、市とすれば農地が宅地や商業・工業用地として転換され開発されれば固定資産税が農地との比較をすれば大きな増収増になる。しかし、反面では多くの農地が転用され作付面積が減少すれば、農業収入も少なくなりJAにとっては痛手になるのではないのか。今後、中津川市どのように手を握り、市にもJAにとっても良い方策はあるのか。

**A** 当JAの使命は、管内を占める中山間地域の農業者と共に農業を発展させることです。リニア新幹線が開通すれば観光や産業振興、或いは地域の基盤整備等、各方面に波及効果もたらされます。その中で、当JAとしても、まちづくりビジョン策定委員会、リニアの見える丘公園構想協議会、坂本駅周辺を中心とした整備事業等々に積極的に参加をさせていただき、地域への貢献がどのような形でできるのか情報収集等を進めさせていただいております。今後は、リニア等の事業で何らかの影響を受ける農業者を中心に訪問活動を展開し、情報交換や金融面等のご相談に対し、行政と連携を図りながらお役に立てることがあればご支援等をさせていただきます。

**Q** (7ページ/表・1)TPPを含めた農産物の販売に苦しみ中、3カ年で10%の農業者所得の増大は大変期待する方針である。全国的に農業者所得の増大を掲げる中、東美濃管内は中山間地区において所得を上げなければならない。そんな中、営農販売戦略室を新設いただき、真に歓迎するところである。現在、消費者が何を望んでいるのかは、JAでも模索いただいていると思うが、今後の販売戦略室はどのように活動されるのか、具体的に説明をいただきたい。

**A** 政府が求めるものは、農業者所得の増大を最大のJAの使命にするとしています。これを進めるうえで当JAにとって何が一番不足しているかと考えた時に、販売先の拡大、販売単価の底上げが必要と考えます。同時にコストの低減も行わなければ農業者所得の増大には繋がりません。営農販売戦略室の中では、取り分け販売先の拡大と販売価格の底上げに向けた対応を行うこととなります。一方で、これまでの契約栽培も進めてまいりますが、基本的に当JAにおける一番の障害は販売力にあると考えます。

現在も既に数社との関わりを持ちながら、農業者所得の増大に向けた対応をさせていただいております。今後も営農販売戦略室は、継続的に前向きな活動を主とした部署として進めてまいります。

**Q** 以前は「JAグループは農業、農村を守っていくために国に万全な対策を求めていかなければならない」と、TPPに反対という言葉を使っていたが、今では容認した中での発言に変わってきているのはなぜか。

**A** TPP問題につきましては、大筋合意には至りましたが、まだ完全に合意できていない部分があります。現在、アメリカの大統領選挙で、民主党のクリントン氏、共和党のトランプ氏の2人はTPPについて反対の姿勢をとっており、オバマ現大統領は、賛成の姿勢を示しています。そのような状況の中で、TPPの行く末には、まだまだ見えない部分が多くなります。そのため我々JAグループは今後の動向を注視し、しっかりと対応をしてまいります。

**Q** 今年は、肥料・農業の価格が上がっているが、JAはもっと安く仕入れ、安く販売して欲しい。昨年と同じお願いをしたが、JAは高く、他店の方が安いがどうなっているのか。

**A** 第6次中期計画の中でも、生産資材の販売価格の引下げについては重要な取り組み課題です。今後は、全ての仕入を全農に任せることなく、一般の仕入業者という位置付けで、全農よりも有利な価格、信用状況の高い業者があれば、その業者から仕入れる方法を採用してまいります。昨年度も競合するホームセンターの価格調査を行いました。当JAのグリーンセンターとホームセンターで比較可能な品目を調査比較したところ、品目別には当JAの価格の方が安いものが多数あるとした結果が出ています。一部の商品で他店の安値販売もあることからJAの商品が高いとされているところもあります。他店に価格で対抗できない商品もあることから十分な検証を行い、今後は更に安値販売を図ってまいります。

平成27年度は年2回の他店の価格調査を実施しましたが、本年度は4回実施し他店価格の調査結果を迅速に当JAの販売価格に反映できるようにいたします。

**Q** (7ページ/表・2)「販売力強化による農業者所得向上を図ります」の中に、主食用米買取数量を平成28年度4,000俵から平成30年度には6,000俵に増加すると示しているが、米余り状態で単価も下がっていくため、買取数量を増加すること、農業所得の向上につながると思えない。どういう意味か。

**A** 平成27年度の米買取販売取扱実績は3,078俵で毎年度買取数量を拡大する計画です。平成30年の6,000俵は、集荷数量の10%を目標に取り組んでまいります。

平成27年度は、美濃コシヒカリが日本穀物検定協会より特A評価に認定されました。また、平成30年度からは生産調整の目標の割り当ても廃止されることから販売競争の激化が予想されます。JAでは主食用米を生産者の皆様にとって有利な価格で買取り、有利な価格で販売するために、買取数量の増加を図ってまいります。

飼料用米の増加についても、全国のJAで取り組んだことで、若干の米余り状態が改善されました。飼料用米は飼料用として需要が高く、今後も引き続き取り組んでまいります。



# 第6次中期計画

(平成28年度～平成30年度)



J Aひがしみのみでは、第5次中期計画(平成25年度～平成27年度)の基本目標として、「農を基軸とした組織活動と事業展開の実践」「組織基盤の強化」「経営基盤の強化、健全性の確立」を掲げ取り組んできました。その結果、一定の成果は挙げられたものの、継続が必要な事項に加え、情勢の変化により新たな取り組みが必要な事項など、取り組むべき課題は山積しています。

農業面については、担い手・後継者の不足、農業資材価格の高止まり、米価の低迷、交付金の減少、平成30年度産米からの生産数量目標の廃止、経営所得安定対策の段階的な見直し、飼料用米の交付金拡大、農地中間管理事業の開始、大筋合意に至ったT P P(環太平洋連携協定)等大きな環境変化の中、将来にわたって安定した農業経営が継続できるよう農業者の所得増大へのさらなる取り組みが求められています。

J Aをめぐる情勢については、政府はT P Pによる自由化や規制緩和を視野に、農業・農村全体の所得を今後10年間で倍増することを目指し「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、この農政改革の一環として「農協改革」の推進を決定しました。そして、平成27年4月の閣議決定を経て、J Aの事業運営原則の明確化、理事の構成、中央会制度の廃止、公認会計士監査の義務付け、J A・連合会の組織変更規程等を盛り込んだ改正農協法が平成27年8

月の通常国会にて成立しました。

これらを受けJ Aグループでは、平成26年度からの5年間を自己改革の集中期間とし、特に平成28年度からの3年間を集中実践期間として取り組むことを表明しました。

このような状況の下、J Aひがしみのみでは、平成28年度からの3カ年の中期計画を策定し、「農業者の所得増大」「地域の活性化」「経営基盤の確立」を自己改革の最重要課題として、地域に根ざした総合農協を目指し、組合員と共に役職員が一丸となって長期ビジョンの実現に向け取り組んでまいります。

## Ⅰ. 経営理念

### 信頼

組合員と地域の人々に「信頼」されるJ Aを目指します。

### 貢献

自然と人が共生できる社会に「貢献」するJ Aを目指します。

### 挑戦

時代環境の変化に対応し、常に「挑戦」する活気あるJ Aを目指します。

## Ⅱ. 長期ビジョン(経営方針)

### ◆地域の農業者のために

地域の農業を支える専業・兼業等多様な担い手(農業者)を応援し、元氣と活力ある東美濃地域の農業を構築します。

### ◆地域に必要とされるために

J Aの存在意義と使命を見つめ直し、東美濃地域から必要とされるJ Aを目指します。

### ◆地域で信頼されるJ Aとなるために

組織基盤の拡充、経営基盤の強化、健全性の向上により、将来にわたって安定した事業運営の確立を図ります。

## Ⅲ. 基本計画

### 1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大

- (1) 付加価値の増大、消費者ニーズに基づく販売力強化
- (2) 新たな担い手の育成・支援
- (3) 生産資材コスト低減と省力化資材の提案
- (4) 営農指導態勢の強化による農業生産・技術力の向上
- (5) 事業部署間の連携強化

### 2. 総合事業展開による地域の活性化

- (1) 「食」と「農」を基軸としたJ A活動による地域コミュニティの活性化
- (2) 総合事業を活かした組合員・利用者ニーズに即した提案型事業の展開
- (3) 次世代・若年層との繋がり強化

### 3. 組織基盤・経営基盤の確立

- (1) 全役職員による事業計画の遂行と

経営管理態勢強化による自己資本の充実

- (2) 経済事業のさらなる収支改善
- (3) 組合員の事業利用メリットの醸成、准組合員のパートナー化
- (4) 組合員に信頼され満足いただける職員の育成
- (5) 不祥事未然防止策のさらなる確立と法令遵守の徹底

## Ⅳ. 実践取組事項

### 1. 農業所得増大と農業生産の拡大に積極的に取り組みます。【表・1】

- (1) 販売力強化による農業所得向上を図ります。
  - ① 消費者ニーズに基づく生産・販売方式を取り入れ農業所得向上に取り組めます。
  - ② 付加価値の増大と新たな需要開拓

## Ⅳ. 実践取組事項(表.1～5)

表.1

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
品目別モニター農家の農業所得(対平成27年度)	3%増	6%増	10%増

表.2

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
販売品取扱高	51億円	53億円	54億円
主食用米の買取数量	4,000俵	5,000俵	6,000俵
飼料用米作付面積	200ha	220ha	240ha

表.3

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新たな担い手経営体の育成(新規農家)	10経営体	20経営体	20経営体
JA出資法人への農地集積(累積)	30ha	40ha	50ha
新たな農地の集積・集約面積	100ha	100ha	100ha
担い手への農地集約面積(累積)	1,300ha	1,400ha	1,500ha

表.4

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト低減資材の品目数	30品目	50品目	80品目
担い手・大口農家の生産資材コスト(対平成27年度)	2%減	4%減	6%減
肥料・農業注文書回収件数	4,850件	4,900件	5,000件

表.5

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
専門的・実践的な営農指導員の育成・配置	16名	16名	16名
他部署との人事交流による営農経済部門職員の育成・配置	3名	3名	3名
担い手経営体の経営分析による利益率(対平成27年度)	3%増	5%増	7%増





# IV. 実践取組事項(表.6~11)

表.6 [主な農産物取扱高計画]

(単位:千円)

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
主食用米(買取販売)	56,000	68,000	80,000
主食用米(受託販売)	622,000	657,000	657,000
水田活用米穀	14,000	15,000	16,000
トマト	557,500	570,000	594,000
なす	48,000	51,300	55,900
栗	100,900	101,800	104,500
生乳	772,900	776,800	778,400
肉牛	2,022,500	2,080,000	2,137,300
和牛子牛	422,500	422,000	434,700
肉豚	257,300	266,400	262,800

表.7

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
J A に対する組合員満足度(対平成27年度)	3%増	6%増	10%増

表.8

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
農業関連資金実行件数	60件	60件	60件
信用事業職員による農業経営にかかわる有資格者育成	5名	5名	5名
農業賠償保険の普及件数	3件	5件	10件
くらしの宅配利用者数(累積)	500名	1,200名	2,000名
拠点店舗利用者数(対平成27年度)	3%増	6%増	9%増

表.9

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自己資本額	96.6億円	97.5億円	98.6億円

表.10

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
組合員新規加入数	800人	800人	800人
支店運営委員への准組合員登用	検討・準備	全支店実施	全支店実施

表.11

目標基準項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業利益	88,780千円	61,150千円	108,650千円

に向けた戦略的拡大に取り組みます。【7ページ/表・2】

(2) 地域の農業を支える専業・兼業等多様な担い手を育成・支援します。

① 新たな担い手を育成・支援します。

② J A 出資法人の体制強化と規模拡大を図ります。

③ 管内の農地の集積・集約と環境保全への取り組みを強化します。【7ページ/表・3】

(3) 生産コストの低減と、省力化資材の提案強化に取り組みます。

① 安価供給に向けた仕入れ価格交渉の強化に取り組みます。

② 担い手・大口農家の生産資材コスト低減に取り組みます。

③ 省力化資材の提案と出向く推進活動強化に取り組みます。【7ページ/表・4】

(4) 営農指導態勢及び J A 内事業間連携の強化と、さらに県連に設立された J A 担い手サポートセンターとの連携により、農業者の生産・技術力向上を支援します。

① 事業間連携を踏まえた実践的な営農指導員の育成と明確化を図ります。

② 他部門との人事交流による営農経済事業部門職員の人材育成・配置を行います。

③ 担い手経営体のニーズに応える個別対応を強化します。

④ 施設における計画的投資と業務改善を実施します。【7ページ/表・5】

2. 組合員組織活動の重要性を再認識し、総合事業展開により地域の活性化に取り組み、より身近で必要とされる J A を目指します。【表・7】

(1) 総合事業を活かした組合員・利用者ニーズに即した提案型事業を展開します。

① 渉外担当者・融資担当者・T A C が連携し、担い手組織を中心に訪問活動を継続的に実施し、相談機能の充実を図ります。

② 買い物弱者対策を含めた、提案活動強化による生活支援の強化を図ります。

③ 拠点型事業における利用者支持向上に繋がる事業展開に取り組みます。【表・8】

(2) 組織基盤の拡充と、「食」と「農」を基軸とした J A 活動を通じて、地域コミュニティの活性化に積極的に取り組みます。

① J A ファンづくり運動の新たな取り組みと強化を図ります。

② 親子を対象としたアグリスクールの開催や、管内の保育・幼稚園、小中学校における食農教育活動に取り組みます。

③ 高齢者福祉活動の積極的な展開を継続的に実施します。

(3) 次世代・若年層との繋がり強化を図ります。

① 事業を通じて地域を支える次世代・若年層との繋がりを強化し、地域活性化・経営基盤の強化を図ります。

② 次世代へ繋ぐ農地等の活用及び総合的な資産運用の相談機能を強化します。

3. J A を支える組織基盤・経営基盤の確立に取り組みます。【表・9】

(1) 組合員組織基盤である組合員数の増加に取り組みます。

① 組合員メリットが実感できる取り組みを強化し、組合員数の増加を目指します。

② 支店運営委員会において准組合員等利用者の方にも参加いただき、支店独自の J A ファンづくり運動に取り組みます。【表・10】

(2) 全役職員による事業計画の遂行と経営管理態勢強化により、自己資本の充実を図り、地域から信頼される J A を目指します。

① 各事業年度別に計画された事業計画の進捗管理を強化し、目標の達成を目指します。

② 営農・経済部門のさらなる収支改善を図り、安定した経営を図ります。

③ さらなる事業運営の効率化のため、第3次支店体制等構築を検討します。【表・11】

(3) J A 事業・活動の運動者として組合員に信頼される職員を育成します。

① 信頼される職員を継続的に育成・排出できる仕組みづくりに取り組みます。

② 職員にとって働き甲斐のある職場をつくり、組合員サービス向上を図ります。

(4) 不祥事未然防止のさらなる確立と法令遵守の徹底を図ります。

① J A に内在するリスクを把握・共有し、相互に連携したリスク管理に努め、不祥事未然防止策のさらなる確立を図ります。

② 透明性の高い経営管理態勢を構築し、法令遵守の徹底に努めます。

③ 不祥事未然防止に重点を置いた内部監査を実施します。



# 事業計画

## 基本方針

わが国の経済は、原油安によるコスト低減の効果などもあり企業収益は好調に推移し、緩やかな回復基調が続いています。個人所得は持ち直しているものの、物価上昇の影響により消費者の節約志向が高まっていることから個人消費は伸び悩んでいます。

農業面では、高齢化加速による農業者の減少、円安による農業生産資材や飼料等の価格高止まり、米価の低迷、交付金の減少など農業経営は依然厳しい状況が続いています。さらに、TTP（環太平洋連携協定）においては、平成27年10月の閣僚会議において大筋合意が発表され、農業分野についてはいづれの品目においても、米国など大輸出国との厳しい競争を余儀なくされることとなり、国内農業への打撃が強く懸念されます。JAグループとして、農業・農村を守るため、引き続き国に万全な対策を求めてまいります。

政府は、農政改革の一環として「農協改革」を決定し、事業目的の規定の改正、理事構成の変更、中央会制度の廃止、公認会計士監査の義務付け等を内容とした農協法の改正が4月1日に施行されました。これら農協改革の提起に対し、JAグループでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とし自らが改革を進めることを表明し、平成26年から平成30年までの5年間を自己改革集中期間として取り組みを進めており、今後も引き続き実践してまいります。

このような状況の下、JAひがしみのでは、第27回JA全国大会、第29回岐阜県JA大会での決議を踏まえ、第6次中



期計画（平成28年度から平成30年度）を策定しました。本年度は、大切な実践の初年度を迎え、農家組合員からJAに最も期待されている新規就農支援、農業技術・経営指導などの営農指導強化を図るとともに、販売力の強化、生産コスト低減による農業者の所得増大に取り組み、「食」と「農」を基軸とした地域に根ざした総合事業展開による地域の活性化、支店・アグリセンターを中心としたJAファンづくり運動の取り組み強化、自己改革の実践を支える組織基盤と経営基盤の確立を図ってまいります。

## 基本項目

1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大
2. 総合事業展開による地域の活性化
3. 組織基盤・経営基盤の確立

## 指導事業

### 営農指導

管内農業の現状は、農業者の高齢化や後継者問題など多くの課題を抱え、農業者がJAに期待する事業として、農業技術指導などの営農指導強化を望む意見が多くあります。さらに、農地の維持管理は、農業者の切実な問題として多くの相談があるところです。これらの問題をJAが取り組む重点課題として、営農指導の強化に取り組みます。

また、農業者の所得増大に資する対策として、農業経営支援の強化や各生産部会と連携を図り、需要に応じた農業生産の拡大・支援を行います。

## 生活指導

「食」と「農」を基軸としたJA食農教育活動を拡充するとともに、JA高齢者福祉活動の強化を図り、地域コミュニティの活性化に取り組めます。また、女性部等を中心とした組織活動

の充実に努めます。

## 組織広報

支店等を基軸としたJAファンづくり運動の展開と地域向け情報誌等の広告媒体による「JAならでは」の情報発信に努めます。

## 販売事業

東美濃産農畜産物は、流通関係者や消費者の皆さまから強く支持され生産拡大が期待されています。特に、米については、毎年一定量の消費が減少する中、主食用米と水田活用米穀（飼料用米、備蓄米等）の作付調整を図りながら、需要に応じた生産を行い農業者の所得増大を図ります。また、主要農畜産物については、安全・安心を担保できる正確な生産履歴と自主点検の徹底、生産部会と一体となった付加価値を高める東美濃ブランド農畜産物の生産拡大と販路拡大により、有利販売に努め農業所得の増大を図ります。

## 利用・加工施設事業

安全で高品質な東美濃ブランド農畜産物の供給基地として、農業者・流通業者・消費者の皆さまが求める高品質な製品の供給に努めます。また、計画的な施設改善・設備投資の実施により機能の維持・強化を図るとともに、衛生的な施設管理と業務の合理化に努め、農業者の皆さまの期待に応える施設運営を行います。

## 介護保険事業

高齢者が介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで本人とその家族が安心して暮らしていける訪問介護事業に取り組みます。

## 購買事業

JAの総合力を発揮し、組合員の多様なニーズに応え、組合員の満足を得られる活動を展開します。

生産資材事業では、農業者の所得増大のため、適正な生産資材価格の設定及び省力化資材の提案に取り組みます。生活購買事業では、店舗整備に努めるとともに、安全・安心なJA商品の提供と、健康・環境・エコに配慮した製品等の提案に努めます。また、買い物に出向くことが難しい高齢者などの買い物弱者への対策に取り組みます。

## 信用事業

国内景気は緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済の減速が表面化したことで、企業の姿勢は慎重になっています。また、金融リテール市場は、人口減少、高齢化の進行による市場規模の縮小に加え、地方金融機関の統合の動きや、ゆうちょ銀行の預入限度額の拡大もあり、一層厳しくなるものと想定されます。

このような中、農業と暮らしに貢献するため、農業、生活メインバンク機能の強化、各種相談機能の強化を図り、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズに応え、選ばれ、信頼される地域密着型金融機関を目指します。

## 共済事業

JA共済の理念である「相互扶助」を事業活動の原点とし、組合員・利用者の皆さまのニーズやライフスタイルに合わせた「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提案と、責任世代を中心とした世帯内未加入者への保障充足の拡大に取り組みます。

また、3Q訪問活動を通じて「加入状況点検」と「新規加入拡大」への取り組みを強化し、共済加入世帯全戸訪問を実施し、JAへの信頼確保と地域住民との絆づくりに努めます。

## 「新役員のご紹介」

常務理事（企画総務管理担当）  
早川和良（中津川市落合）





## 女性部活動体験発表会 森本幸恵さんが最優秀賞



最優秀賞を受賞した森本さん(中央)

県J A女性連絡協議会とJ A岐阜中央会は6月1日、羽島市で第41回「J A女性部活動体験発表会」「フレッシュミズの主張コンクール」「家の光記事活用発表会」を開きました。当J Aからは森本幸恵さんが『夢がひろがる「縫をまい会』と題し発表。みごと最優秀賞に選ばれました。

森本さんは恵那北農協時代から40年以上、J Aの女性部員として活動に参加。当J A訪問介護センターへルパーとして勤務された後、家の光小グループ「縫をまい会」を立ち上げました。「みんなで楽しく縫をまい！」をモットーに「家の光」を活用しながら洋裁で仲間を助けています。

森本さんは来年2月開催の全国大会に出場します。

## 助けあい組織「たんぼぼの会」 介護センター利用者へちらし寿司

当J Aの助けあい組織「たんぼぼの会」は6月8日、J A本店で、訪問介護センター利用者50名分のちらし寿司弁当を作りました。

同会は毎年春にはちらし寿司、冬にはおはぎを作り、同センターのヘルパーらが無料で利用者宅へ訪問して届けています。弁当にはちらし寿司の他にも煮豆やポテトサラダなどを盛り付け、栄養バランスにも配慮。同会員は「毎回おいしいと喜ばれるため、作り甲斐がある」と笑顔で話しました。



彩り豊かなちらし寿司を盛り付けるたんぼぼの会

## クリ新規栽培チャレンジ塾で 担い手育成・産地拡大

当J Aと東美濃栗振興協議会は6月5日、中山間農業研究所中津川支所で第1回クリ新規栽培チャレンジ塾を開講し、クリの栽培をこれから始めようと考えている人など15名が参加しました。

塾生は産地と協議会の概要について説明を受けた後、同支所内の試験圃場で幼木から成木まで樹齢別の生育状況を確認し、初夏の追肥や病虫害対策について学びました。

塾生は「美味しい実が採れるようになる若木まで丁寧な手入れに努めていきたい」と今後の目標を語りました。



クリ園で説明を受ける塾生

## 夏秋なす出荷本番 共同選果で品質統一

東美濃夏秋なす生産協議会が生産する夏秋なすの出荷が、6月中旬からスタートしました。今年度は定植時の5月に好天が続いたことから順調に生育し、色・ツヤ・形も良く、例年より早い出荷。11月上旬まで岐阜、名古屋、京都市場へ昨年度より1.5%増の172トンの出荷を見込んでいます。

6月13日に当J A本店で開かれた目揃え会には協議会、市場、J Aら約65名が参加し、出荷規格や生育状況などを確認しました。同協議会では「規格表の活用で家庭選果を徹底し、持ち込み時点での品質統一を図っていききたい」と意気込みました。



出荷規格などを確認した目揃え会

## カンガルー劇場へようこそ！ 親子を対象に食農教育

当JA女性部は6月15日、第1回「カンガルー劇場」を開き、同JA女性連絡協議会会長の三尾揚子さんを講師にJA本店で読み語りと五平餅づくりを行いました。

サークル名の「カンガルー」は親子をイメージしたものです。若い子育て世代の女性にもJAや女性部活動に親しみ、興味をもってもらうことを目的に昨年度より開催。全8回の開催を予定しています。

1回目は12組の親子が参加し、子どもが喜ぶ絵本の読み方を学んだ他、地元のコシヒカリを使った五平餅作りを楽しみました。



総合優勝の「JR東海名古屋支部」チーム

## 第1回中津川リレーマラソン 盛大に初開催

「第1回清流木曾川 中津川リレーマラソン大会」が5月29日、中津川市茄子川の中津川公園で初開催され、県内外から184チーム約1330人が参加しました。

リレーは、1チーム4〜10人で行われ、仲間と共にゴールを目指し、2.1kmのコースを20周するフルは「JR東海名古屋支部」が、10周のハーフは「KYOWA」がそれぞれしました。

優勝したチームには、当JAから副賞として、飛騨牛商品券3万円分が贈られました。また、会場では、おたのしみ抽選会が行われ、飛騨牛商品券やひがしみのカレーなども贈られ、大盛況でした。



参加した親子と三尾揚子さん(中央)

## 農産物の魅力を再発見 県下JAが新番組



岐阜県JAグループでは、岐阜放送(ぎふチャン)と連携して農業応援番組「鈴木ちなみの元気のみなもと」(愛称「ちなみな」)を制作します。

新番組「ちなみな」は、モデルや女優として、人気急上昇中の鈴木ちなみさん(多治見市出身)が県内7JAを巡り、野菜の収穫を体験したり、農家の皆さんとふれあいながら、おいしい食べ方や地域の見所などを交えて、岐阜県の農産物の魅力を紹介する番組です。7月17日を皮切りに毎月第3日曜日(午後5時30分〜6時)に放送。

初回放送は、7JAの女性部が各地域のおいしい農産物を紹介します。当JAからは、同JA女性連絡協議会会長の三尾揚子さん、同協議会役員の木下みつ子さん、太田朱美さんが登場し、「朴葉寿司」と「からすみ」を紹介します。

また、10月16日(日)放送では、同JA管内の栗生産者の土屋厚子さんらに登場いただき「栗きんとん」などを紹介します。



鈴木ちなみさんと県下JA組合長による制作発表会[当JA足立組合長(左)]

## 2017年版 JAオリジナルカレンダー 写真募集!

- テーマ  
「東美濃の四季」東美濃地域(中津川市、恵那市)の四季の風景、自然、風物、行事等を捉えた作品。
- サイズ  
カラープリント4切及びワイド4切サイズ  
(原則として横位置写真で、平成27年以降に撮影されたもので未発表のものに限る)
- 応募点数 1人4点以内
- 締め切り 8月末日
- 募集要項、申し込み用紙  
JA各支店の窓口で配布しております。
- 問い合わせ先  
JAひがしみの本店 組織広報課  
(0573)78-0124

## ～正職員採用試験のご案内～ 生まれ育った東美濃の地で働きませんか?

- 採用職種  
総合職採用(金融・共済事業、営業指導・販売事業、購買事業、他)
- 応募資格、応募書類

求人区分	応募資格	応募書類	採用人数
1.新卒求人	大卒、短大卒、専門学校を29年3月卒業または卒業後3年以内の社会人経験のない方	・エントリーシート ・成績証明書 ・リクナビへのプロフィール写真です。	若干名
2.一般求人	高卒以上の社会人経験のある方	・エントリーシート ・職務経歴書 ・卒業証明書(任意で可)	若干名

※正職員採用日はいずれも平成29年4月1日です。  
※エントリーシートはJAひがしみのホームページ「採用情報」からダウンロードできます。

- 試験日程  
応募書類の提出期日:平成28年8月12日(必着)  
※書類選考通過者に対し、1次試験のご案内をします。  
1次試験:8月下旬(筆記試験、小論文、面接試験)  
2次試験:9月上旬(面接試験)
- 説明会  
説明会に来場ください。JAひがしみのについて説明いたします。

説明会名	日程	場所	申込方法
JAひがしみの説明会	平成28年7月27日(水) 14:00～16:00	JA本店	リクナビまたは電話で申し込みください
ひがしみの就職面接会	平成28年8月6日(土)	ひがしみのふれあいセンター	主催者指定の方法

※個別の訪問も対応します。人事課までお問い合わせ下さい。

- 書類の提出先、説明会申込先、問い合わせ先  
〒509-9132 中津川市茄子川1646-19  
JAひがしみの 総務部人事課  
Tel 0573-78-0168 Fax 0573-68-7724  
E-mail: jinji@ja-higashimino.giadc.jp

JAひがしみの採用情報  
http://www.ja-higashimino.or.jp/recruit/



安心をひとつ保つ保険のパートナー  
**JA安心倶楽部** 標準型保険  
「JA安心倶楽部」は、仕事、趣味、レジャーなど日常生活でケガをされた場合に、24時間、日本国内外を問わず補償するJA組合員とご家族専用の備前保険です。備前だけでなく、カメラを落として壊してしまった時など持ち物(旅行品)についても補償されます。さらには、自転車運転中に他人にケガをさせてしまった場合等、日常生活や住宅の所有に関わる賠償責任も幅広く補償する総合補償型の保険商品です。

**JA安心倶楽部の特長は...**

- 24時間、日本国内・海外を問わず補償します。ケガだけでなく、賠償責任や旅行品の損害も幅広く補償します。
- 24時間 国内・海外を問わず
- 補償期間:平成28年11月1日(火)より1年間  
募集期間:平成28年8月1日(月)～平成28年8月25日(木)まで  
加入条件:ひがしみの農業協同組合の組合員でかつ、平成28年11月1日(火)時点で80歳の方に限ります。(新規加入の場合)

補償内容	補償金額
ケガによる死亡	120万円
ケガによる後遺障害	46.8～60万円 (第1級～第7級まで)
ケガ(賠償・後遺症)	3,000円～1～129倍
被害事故補償	2,000万円
賠償責任補償	1億円 (任意で1億～100万円まで)
旅行品損害	20万円 (任意で最高1,000円)
弁護士費用	300万円
法律相談費用	10万円

年間保険料 **15,000円**

■上記内容は商品の概要を説明したものです。詳細は、JA安心倶楽部/レフレット(PE105500)とあわせてご覧ください。

お近くのJA各支店にお問い合わせください!

[取扱代理店] JAひがしみの [引受保険会社] 共栄火災海上保険株式会社

## 家の光グループ・JA女性部員・サークル 合同作品展&元気交流会

JA女性部は日頃、生活情報誌「家の光」を活用して仲間とともに楽しい活動をしています。部員の方はもちろん、部員以外で活動に興味のある方も、ぜひお越し下さい!

- 日程 7月22日(金) 10時～16時30分  
23日(土) 9時～16時
- 場所 JA本店
- 内容  
・作品展・加工食品販売・手芸品バザー  
・女性部喫茶コーナー・Aコープ商品販売  
・各体験コーナー など

## ふれあい課だより 生活習慣病健診のご案内

- 恵那地域  
【健診日・会場】
- 9月14日(水) 東野営業所
  - 9月15日(木) 笠置コミュニティセンター
  - 9月20日(火) 中野方コミュニティセンター
  - 9月21日(水) 飯地営業所
- お申込み受付期間 7月25日(月)～8月19日(金)まで
  - 当日受付時間 午前8時30分～午前11時まで
  - お申し込み 各支店・営業所にある申込用紙をご記入の上、窓口へ提出して下さい。  
(肺がん・大腸がんの健診をお申し込みの方は容器をお受け取り下さい。)
  - お問い合わせ JAひがしみの本店 組織広報課  
TEL 0573-78-0124

## 土用の丑の日

シニア野菜ソムリエ ● KAORU

「土用丑(うし)の日」には夏バテ防止にウナギを食べる習わしがあります。

そもそも「丑の日」とは1年を十二支に割り当てた数え方。「土用」とは立春、立夏、立秋、立冬前の約18日を指し、その間に巡ってくる丑の日を「土用丑の日」と呼んでいます。実は季節ごとに土用が存在しますが、近年では主に夏の土用を指すようになりました。

夏の「土用丑の日」は梅雨明けと重なり、気候も体調も変化する季節の節目に当たります。ウナギをはじめ、うどん、ウリ、梅干しなど頭に「う」が付く食べ物を食べると疲労回復に効果的とされてきました。

なかでもウナギは古くから栄養価が高いスタミナ源として注目されて



いた食材です。タンパク質の他、EPA、DHAなどの脂質、免疫力を高めるビタミンA、E、代謝促進に役立つビタミンB群、骨の形成に寄与するビタミンD、カルシウム、貧血予防に効果的な鉄など、優れた栄養成分をバランスよく含み、まさに疲労回復には最適です。ただしビタミンCはほとんど含有しないため、ビタミンCを多く含む野菜と組み合わせるとさらに夏バテ防止に効果を発揮します。

特にこの時期に育つ夏野菜にはビタミンCがたっぷり含まれるので、旬の物を中心に、トマト、ピーマン、パプリカ、シシトウ、オクラ、ゴーヤ、エダマメ、モロヘイヤなどをサイドメニューに添えると良いです。青シソ、ミョウガ、さんしょう、ワサビ、シヨウガなどを薬味として添えれば、栄養面だけではなく、後味もさっぱりして落ちがちな食欲もアップします。

今年の「土用の丑の日」は7月30日です。いつものウナギに旬の野菜もプラスして、夏を元気に乗り切りましょう。

## 無理なダイエットにび用心

佐久総合病院名譽院長 ● 松島 松翠

肥満は体に余分な脂肪が付いた状態をいうのですが、これには、おなかの内臓周りに脂肪がたまる「内臓脂肪型」と、皮膚のすぐ下に脂肪がたまる「皮下脂肪型」の二つのタイプがあります。おへそ回り(腹囲)を測ってみて、男性80cm、女性90cm以上あれば内臓脂肪型肥満が疑われます。内臓脂肪型肥満は、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心筋梗塞、脳梗塞などの命に関わる病気を起こしやすいので要注意です。

そこで肥満をなくそうと、ダイエットをするという人がいますが、それがあまり極端になってはかえって危険です。すなわち、まず大事な朝食を抜かないことです。昼間に取った食事のエネルギーは、消費の方向に働き、夜はエネルギーを蓄積する方向に働くので、夜遅く食べることは、肥満につながります。

次に早食いする(食事を済ませるのがはやい)と食べる量も増えます。いつもの倍ほどの時間をかけ、よく噛み、噛む回数(30回以上)を増やしてゆっくり食べれば、食べる量は自然に減らせます。

外食は脂肪や塩分も多く、濃い味になりがちで、野菜も不足気味です。丼物やそば類だけのメニューよりも定食を選ぶとよいでしょう。痩せるためといっても、ご飯などの主食は極端に減らさないことも大切です。炭水化物を減らすと、体に必要なエネルギーをたんぱく質で代用するため、筋肉量が減少するだけでなく、かえって太りやすくなります。

体重はできれば毎日測りましょう。起床時より寝る前の方が1kgくらいは増えますが、翌日には戻るのが普通です。毎日測ると、どんな食事が体重に大きく反映しているかが分かります。



# 農旬

情報

2016年  
7月

## 目指せ！ 農作業事故ゼロ

田植作業等も一段落し、農作物の栽培管理に忙しい時期となりました。同時に雑草対策として刈払機を使用することに伴い、農作業事故が多発する時期でもあります。

刈払機の安全な使用方法を把握し、「農作業事故ゼロ」を目指しましょう。

### 刈払機の安全使用のための 4つのポイント

#### ポイント1

#### 機器の点検

- ① 刈刃の損傷や変形の有無などを確認し異常があれば新しいものに交換します。
- ② 刈刃の緩みがないか確認します。(ネジの向き等に注意)
- ③ 飛散防止カバーの有無



#### ポイント2

#### 正しい服装

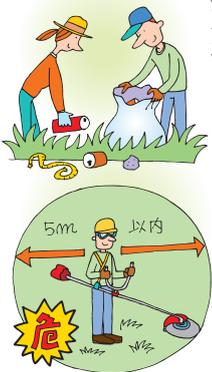
- ① 長袖長ズボン
- ② 滑りにくい靴
- ③ 防護メガネ
- ④ 帽子やヘルメット
- ⑤ 保護手袋



#### ポイント3

#### 刈取り場所での安全確認

- ① 作業予定場所にあるごみ等を事前に除去する
- ② 複数人で作業する場合においては、半径5mを危険区域として、絶対に人が立ち入らないように注意する



#### ポイント4

#### 正しい使用

刈刃は常に膝から上の位置ではない様に心がけ、右から左へと一定方向へ動かします。この際雑草を、刈刃の左上部で刈り取ることが基本です。



### 熱中症への対策を

暑さに慣れていない梅雨明け後から、熱中症事故が増えてきます。熱中症は適切な対策をすれば防ぐことが出来ます。

**ポイント**は「水分補給」と「暑さを避けること」

- ・帽子と風通しの良い服装で体温上昇を防ぐ
- ・こまめに休憩して水分と塩分を補給する
- ・気温の高い時間帯は作業しない
- ・遮光や断熱素材を活用して、作業所内の温度上昇を防ぐ

### 万が一のために 労災保険へ加入しましょう



雇用労働者の業務災害を補償する公的保険制度ですが、自営農業者であっても、一定の要件を満たせば特別加入できる制度があります。詳細についてはお問い合わせください。

#### お問い合わせ

J A ひがしみの本店 営農部

労働保険事務組合

05731780137

### 熱中症対策のポイント



# 彩菜栽

2016年  
7月

## 夏まきニンジン

### 上手な発芽と管理のポイント



がるお薦め野菜です。

種まきの適期は7月上旬となるので、発芽と初期生育は天候の難しい時期に当たります。そのためこの作型では発芽をそろえて、初期の生育を順調に進めることが大きなポイントです。

畑の準備として、前作はなるべく早めに片付け、残渣を残さないようきれいにし、少なくとも20日前ぐ

らいまでに完熟した細かな堆肥と油かすなど有機質肥料、少量の化成肥料を全面にまき、深さ20cmぐらいいよく耕し込んでおきましょう。元肥はやや控えめにし、施肥の主体は盛んに育ち始めてからにすることです。

手順として、まき溝はくわ幅で、底面が平らになるよう丁寧を作り、土が乾いたらジョウロで溝全面に、溝をはみ出さないようにたっぷりと灌水し、底面が平らに落ち着いたら種まきします。水が溝からはみ出すと、覆土するとき土がぬれていて困ります。

覆土は種子がやつと見えなくなる程度(5〜7mm)の薄めとします。覆土した後、くわの背で軽く鎮圧し、種子を土になじませておきます。

まき終わったら溝全面に細かく砕いた完熟堆肥または切りわらで薄く覆って、乾燥や降雨による土のね上げ、地面の固結を防ぎます。材料は発芽しても取り除く必要はありません。発芽するまでに乾燥したら灌水を心掛け、乾き過ぎないように注意します。

発芽ぞろいし、本葉2〜3枚ぐらい育った頃間引きします。初期は軟弱なので、ある程度密にして共育させることが大切です。本葉5〜6枚になったら、第2回の間引きで、10〜12cm株間(品種差あり)の一本立ちとします。

間引きした後にはすぐ追肥すること。雑草が大変生えやすいので遅れずに除草することもニンジン作りの大切なポイントです。

ニンジンにはベータカロテンを豊富に含み、粘膜強化や免疫力アップ、老化防止などに役立ちます。品種改良が進み、カロテン含量が高く、芯までよく着色し、サラダにも向くなど品質が格段に高まり、家庭菜園での魅力が増してきました。

これからがまきどきの夏まき作型は、秋の適温条件(18〜20度)で育つため作りやすく、中秋から冬にかけて長期間収穫できるので、実益の上

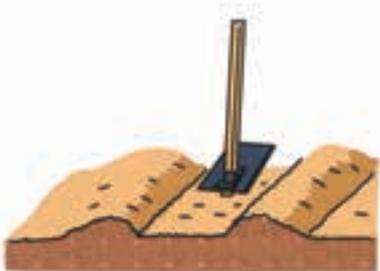


上げた土をぬらさないように注意

ジョウロでまき溝全面にたっぷり灌水する



1cm間隔ほどで満遍なく種をまく



くわの背で軽く押さえるように鎮圧する



細かく砕いた完熟堆肥または切りわらで薄く覆っておく



恵那市明智町  
安藤 登夫さん(72)

## 消費者の「おいしい」のために

糖度が高く、鮮やかな黄色が特徴のスイートコーン「恵味ゴールド」。詰め合わせを「ふるさとパック」として全国に出荷する恵南スイートコーン生産協議会で安藤さんは昭和62年の結成時から生産を続けています。

今年度は栽培面積10aに、約3400本を植え付け。天候に恵まれ、生育も順調で昨年に続き品質も良好。収穫は、7月の下旬を予定しています。

安藤さんが栽培で特に気をつけているのが病害虫対策。当JA職員と一緒に農薬の試験を行うなど試行錯誤の毎日です。贈答用としても人気がある「ふるさとパック」の評判をおとさないよう協議会でも、病害虫対策は特に呼び掛けています。

市外に住む9人のお孫さんも安藤さんのスイートコーンが大好きで、収穫の時期になると手伝ってくれます。「可愛い孫や消費者が美味しいと言って食べてくれることが、一番やる気につながる」と語る安藤さん。「協議会では年々会員の高齢化も課題となっているが健康な内はスイートコーンづくりを続けていきたい」とほほ笑みます。



全国にスイートコーンをお届け  
「ふるさとパック」

価格 5kg 2800円(税、送料込)  
受付期間 平成28年7月4日～19日  
発送予定日 平成28年7月21日～29日  
お問い合わせ 恵南アグリセンター  
(0573)56-2171

# エンジョイマイライフ

## みんなの健康維持に

中津川市落合

木戸 みえ子さん(79)

23歳から55年以上民踊を続けている木戸さん。日本全国の民踊を踊ったり、地元の曲に振付を自ら付けるなど様々な形で民踊を楽しんでいます。また、落合を中心とした民踊グループで講師を務め、毎年「おいでん祭」で子どもたちが披露する風流踊りの手踊を指導しています。

木戸さんは「中津川市民踊連盟」

に加入し、昭和63年から地域住民のために、市内の福祉施設で民踊を披露。



また、ハーモニカとギターを演奏する日那さんと2人で福祉施設を巡り、月に3回ほどボランティア活動を行っています。「懐かしい歌が聞けて元気になる」「踊りの迫力に感動する」と毎回好評で、木戸さんもやりがいを感じています。

「少しでもみなさんに元気になってもらえれば」と思いを語る木戸さんは今後も民踊を通して、地域の健康維持に貢献します。



## ★JAの星

蛭川支店  
河野 拓也



### Profile

担当：営農経済  
入組：7年目  
出身：中津川市蛭川  
血液型：O型  
趣味：スポーツ(ランニングなど)

### 誠実な接客を

真面目で、真心を込めた接客を心掛けています。そのためにも、さまざまな勉強をし、お客様のあらゆる要望に応えられるよう頑張ります。

## キラキラ ひがしみのっ子



恵那市武並町

ひより 凛ちゃん(4)  
鈴木 日和ちゃん(1)

### 元気いっぱい仲良し姉妹

外で遊ぶのが大好きな仲良し姉妹。

お姉さんらしく、我慢強い凛ちゃんは、いつも元気いっぱい。最近は鉄棒ができるようになりました。

お姉ちゃんのマネが好きでちょっぴりおてんばな日和ちゃん。かわいい笑顔はいつも家族をいやしてくれます。

「健康第一で、元気に育ってほしい。」とお母さんは願います。



# ひがし君・みゆちゃんの おはなし日和



☑ 特集の「地震」を読んでもしもの時の対策をしつかりとしなければと思いました  
中津川市千旦林 鹿島春美さん

☑ 特集を読み、地震のことはあまり気にしていなかったため、阿寺断層を見て驚きました。  
中津川市蛭川 青山由子さん

☑ 地震による被害は、明日は我が身と言われても、なかなか想像が出来ないです。でも、少しでも見直さきっかけになってもうらえると嬉しいですね。

☑ 地元のことがたくさん載っているのを知っている場所や人の記事を見つけると、嬉しくなります。  
恵那市岩村町 深萱友恵さん

☑ 3月に結婚を機に引っ越してきました。慣れない地のいろんなことがわかって楽しいです。  
中津川市坂下 吉村衣莉さん

☑ じゃがいもの茎にミニトマトみたいな実が出来ました。  
恵那市大井町 磯部久世さん

☑ きゅうりに花が咲きました。  
恵那市三郷町 工藤忠昭さん



☑ 私たち若い世代が農業に興味を持っていくのは大切ですね。おばあさんと一緒に出来るのも楽しみの一つですね。  
中津川市苗木 松井美月さん

☑ おもしろいお写真ありがとうございます。不思議な育ち方が見れるのも家庭菜園の楽しみですね。  
中津川市苗木 松井美月さん

☑ 祖母に習い、畑で野菜作りを一緒に始めました。少しずつですが作物が育つのがうれしいです。  
中津川市苗木 松井美月さん

☑ おもしろいお写真ありがとうございます。不思議な育ち方が見れるのも家庭菜園の楽しみですね。  
中津川市苗木 松井美月さん



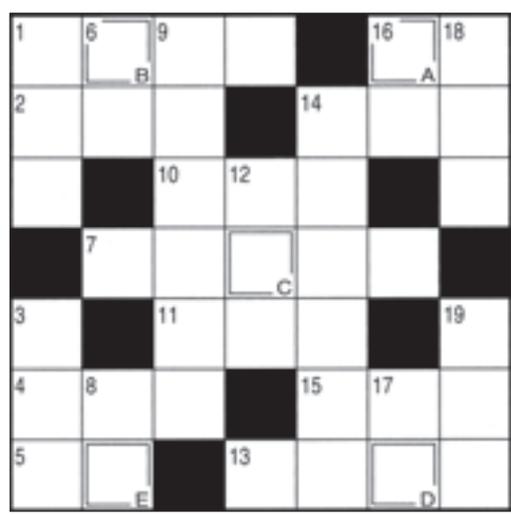
## 頭〇体操

### ■タテのカギ

- ①火を付けて一服
- ③ぬめりの強いきのこ
- ⑥カレーに添えることもあるインドのパン
- ⑧キャンドルからぼたりと垂れます
- ⑨シャトルを打ち合う球技
- ⑫みそ汁の具に使われる二枚貝
- ⑭金時、ウズラ、手亡といえど何の豆?
- ⑯考え事をする際に組む人もいます
- ⑰明ければ夏本番
- ⑱もう着ない服が、——の肥やしになっている
- ⑲行きはよいよい、——は怖い

### ■ヨコのカギ

- ①織姫とひこ星が出会います
- ②ジャズ—の演奏を聞きに行った
- ④夕張産が有名な果物
- ⑤手のひらの裏側です
- ⑦平面は二次元、立体は——
- ⑩カタカタと布を縫います
- ⑪東京に住んでいる人のこと
- ⑬——の塔は沖縄県糸満市にある慰霊塔です
- ⑭親と子の顔が似る理由
- ⑮島根県の県庁所在地である市
- ⑯カラオケに行って楽しむもの



【問題】二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

### ■応募要領

官製ハガキにクイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、JAまたは広報誌に対する意見、要望などをご記入の上、下記までお寄せ下さい。

### ■応募締切日

平成28年7月22日(金)

### ■賞品

正解者の中から抽選で10名様に農協全国商品券(1,000円分)をプレゼント



〒509-9132 中津川市茄子川1646-19  
JAひがしみの 本店 組織広報課

### ■6月号の答え

ホテルガリ(蛭狩り)

### ■クイズ当選者(敬称略)

小島 あさ子、原 三代、林 みちよ  
佐藤 ユミ、渡辺 澄枝、切石 あや子  
駒瀬 月代、志津 宏子、安藤 日佐子  
吉村 さくら



# 理事会

## 第3回理事会

(平成28年6月23日)

次の事項が報告、または審議されました。

### 【附議事項】

- ①第18年度業務報告書について
- ②理事の報酬額について
- ③関連会社への役員推薦について
- ④子会社の取締役の承認について
- ⑤東美濃農業協同組合企業年金規約の一部変更について
- ⑥JAバンク業務継続要領の一部変更について
- ⑦信用供与等保証貸付限度額超過貸出金の条件変更について
- ⑧理事との利益相反契約について

### 【報告事項】

- ①内部監査結果について
- ②信頼性向上行動計画の進捗管理結果について
- ③JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
- ④平成28年度運営委員の委嘱について
- ⑤平成28年度JAファンづくり運動について
- ⑥理事との利益相反契約の結果について
- ⑦役員賠償責任保険の加入(継続)について
- ⑧改正農協法に係わる理事構成の協議について
- ⑨第2四半期余裕金運用計画額及び運用方針について
- ⑩東美濃夏秋トマト研修農場の建設について
- ⑪5月末の事業実績について

# 無料相談日

JAでは、各種相談日を設けていますので、お気軽にご利用ください。各相談場所へ事前に電話予約をしてください。

内容	月日	場所	内容	月日	場所		
年金相談	7月	13日(水)	恵那支店	法律相談	7月 13日(水)	下野支店	
		//	坂下支店		14日(木)	本店	
		20日(水)	本店		20日(水)	恵那支店	
	8月	//	加子母支店		//	山岡支店	
		//	付知支店		8月 10日(水)	下野支店	
		//	下野支店		12日(金)	本店	
		3日(水)	山岡支店	税務相談	7月	13日(水)	恵那支店
		//	明智支店			//	山岡支店
//	上村支店	20日(水)	本店				
10日(水)	恵那支店	22日(金)	下野支店				
//	坂下支店	8月 10日(水)	恵那支店	//	山岡支店		

## ご案内窓口 市外局番 ☎(0573)

本店 ☎78-0124	上村支店 ☎47-2311
中津川支店 ☎65-3144	坂下支店 ☎75-4111
恵那支店 ☎25-5291	加子母支店 ☎79-2241
山岡支店 ☎56-2121	付知支店 ☎82-2121
明智支店 ☎54-2171	下野支店 ☎72-2061

## JAひがしみの概況

(平成28年5月31日現在)

組合員数	32,482人
出資金	26億5,325万円
貯蓄金	2,142億6,679万円
貸出金	414億1,806万円
共済保有高	6,974億6,655万円
購買品供給高	11億5,076万円
販売品取扱高	5億8,127万円

## ここだけの話

■約1300年前、新嘗祭のお米を献上したという史実を再現した「お田植え祭り」が恵那市で行われました。またこの地方のコシヒカリは今年の食味ランキングで特A評価を受けました。昔も今も東美濃地域のお米は、「美味しい」と評判なんです。

■7月から始まる岐阜県JA制作番組「鈴木ちのみの元気のみなもたらみな」の制作発表会が行われ、加してきました。ちのみのトークショーが行われ、ご本人を見ましたが、顔は本当に小さい。(汗)スタイルも抜群で、改めて綺麗だと惚れ惚れしました。そんなちのみなさんが、岐阜の農産物の魅力を伝えてくれる番組になると思いますので、是非ご覧ください。

## ふれあい訪問日

平成28年8月のふれあい訪問日

9日(火)・10日(水)

## 緊急連絡先

- ▶ 事故をしてしまったら TEL 0120-25-8931
- ▶ 通帳・キャッシュカードを無くしてしまった TEL 058-276-8015
- ▶ 葬儀に関するご相談は TEL 0120-09-8382
- ▶ 電化製品のお問い合わせは TEL 0573-78-0122
- ▶ プロパンガス・ガス器具のお問い合わせは TEL 0573-68-7744



(カレンダー応募作品より)

今月の表紙

元気いっぱい  
のヒマワリ

撮影：浅野洋二さん  
(中津川市千鳥林)  
撮影地：中津川市千鳥林

坂本の辻原地域で、地域の景観をよくするための休耕田を利用して、ヒマワリを植えています。毎年うまく咲くわけではないのですが、今年はきれいに咲きそうなので楽しみです。

# 新鮮食材で 楽しくクッキング

料理研究家  
波多野充子

RECIPE  
1

## カツオのソテー・バルサミコ風味



うま味たっぷりのカツオをサッと焼き、フレッシュなバルサミコソースとお魚の味を引き立てるハーブを添える、いつもと一味違うカツオ料理です。お好みでソースにニンニクを加えても美味しいです。

材料(3人分)

1食当たり約127kcal

刺し身用生カツオ	1さく	こしょう	適量
キウイ	1個	白ワインか酒	小さじ2
ミニトマト	4個	バルサミコ酢	大さじ1
レモン汁	小さじ2	EVオリーブ油	小さじ1
塩	適量	ハーブ(チャイブやデイル)	少々

### 作り方

- 1 カツオは水気を拭き取り、1.5cm厚さに切り、白ワイン・塩・こしょうを振る。
- 2 キウイとミニトマトは5mm程度に切り、バルサミコ酢・レモン汁・塩・こしょう・EVオリーブ油を合わせた中に入れる。
- 3 フライパンにEVオリーブ油(分量外)を少々熱し、カツオの水気を取り両面1分弱ずつ焼く。
- 4 器に盛り付け②のソースを掛けハーブを添える。

材料(2人分)

1食当たり約172kcal

夏ミカン	1個	ドレッシング	
カブ	2個	白ワインビネガー	大さじ1
セロリ	1/2本	赤梅酢	小さじ2
スナップエンドウ	4本	EVオリーブ油	小さじ1
ニンジン(小)	1本	塩	適量
大葉	4枚	こしょう	適量

### 作り方

- 1 夏ミカンとカブは皮をむき、セロリは筋を取り、食べやすい大きさに切る。
- 2 大葉は太千切りにする。
- 3 スナップエンドウは筋を取り、ニンジンは薄切りにし、塩少々(分量外)を入れた湯でさっとゆでる。
- 4 ①②③を器に盛り付け、ドレッシングの材料をよく混ぜあわせ、食べる直前に掛ける。

## 夏ミカンと季節野菜のサラダ

RECIPE  
2



夏ミカンや甘夏などの甘酸っぱさが、この時期にピッタリなサラダです。梅酢は梅干しを作るときに自然にできるもので、クエン酸・リンゴ酸・ポリフェノールなどを含む便利な調味料です。

Heartful Communication

ひがしみの

JAひがしみの  
ホームページ

ひがしみの産の美味しいレシピや食材、最新情報はこちら

<http://www.ja-higashimino.or.jp/>

発行：東美濃農業協同組合(JAひがしみの)●JULY / Vol.220 2016年7月1日発行

編集：総合企画部組織広報課 〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-19

TEL0573・78・0124 FAX0573・68・7724 (E-mail)koho@ja-higashimino.gjadc.jp

JAひがしみの

検索

